

令和4年度学校評価委員会(評価結果)

1、評価(別紙アンケート結果参照)

令和4年度の目標 『社会に役立つ主体性のある生徒を育成する』

- ・授業の充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる、新しい取り組みに挑戦する。
- ・ルールを遵守し、礼儀を持って人と接することにより、他人を敬う心を身につける。
- ・基本的生活習慣を家庭、学校と連携し身につける。
- ・ボランティア活動等で地域に貢献し、自己肯定感、幸福感を高める。

① 令和4年度の評価

ア 評価できること

- ・熱心で授業はわかりやすく、工夫され丁寧であった。
- ・資格取得には積極的に呼びかけ、熱心である。
- ・資格取得のレベル(級等)が上がった。
- ・生徒との距離が近く、質問がしやすく楽しい環境である。
- ・ICTの導入で教員の教え方に幅が広がった。授業に合わせ適切に使用されていた。
- ・授業に限らず行事においても、生徒が主体性を持って企画、参加していた。
- ・授業では、グループワークを増やすことで教えあいができ、協力して積極的に参加し、発言する機会が増えた。
- ・挨拶が積極的に出来て気持ち良い学校生活ができている。
- ・生徒会、保護者、企業、地域の方々の協力もあり、交通マナーの呼びかけ、指導を行った結果、警察による交通指導カード(違反切符)を切られる数は前年比約33%に減少した。
- ・三者面談の数を増やしたことで、生活習慣の改善が見られ、遅刻数が減少した。(前年比約52%に減少)
- ・藤枝市主催のアダプトロードに参加し、割り当てられた、学校近隣の道路横の花壇の手入れ、花植え、水撒きを行った。その他、農業、市立図書館のお手伝いもボランティア活動としておこなわれた。

イ 改善が必要なこと

- ・わかりやすく工夫された授業がある反面、一部で説明不十分で理解しづらい授業もある。
- ・資格取得に関しては、生徒からの積極性は、まだまだ欠けている。呼びかけ方法、雰囲気づくりが重要である。資格取得を通して、生徒に自信をつけさせたい。
- ・基礎学力定着への努力(生徒・教員双方に)が必要である。
- ・グループワークは活気があってよいが、騒がしくなりすぎるがあった。
- ・資格取得の級レベルは上がっているが、全体的な受験者数、合格数は少ない。
- ・ルール、モラルの軽視が見受けられる。服装の乱れや公共エリアでのモラルの無さを指摘された。礼儀、マナー指導の強化が必要である。
- ・交通違反は減少傾向にはあるが、交通事故は大きなものもあり今後も注意喚起強化が必要。外部からの苦情もあり。
- ・遅刻者数は減少したが、十分とは言えない。生活習慣の乱れが原因とみられる生徒もおり、引き続き保護者との協力を密にし改善したい。
- ・全体のアンケート結果の数値が、昨年と比べ、ほぼ横ばい状態である。目に見えた改善を目指すためには、意識改革が必要である。数値目標の設定が必要である。
- ・ボランティア活動が全体で行えていない。参加人数(実数)を増やしたい。生徒の内面を変えていくには、効果的である。

② 5年度の目標・課題

目標 『社会貢献できる主体性のある生徒を育成する』

- ・学びの充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる、新しい取り組みに挑戦する。積極的な資格取得。
- ・ルール・モラル・礼儀を遵守し、誠実に人と接し、謙虚で他を敬う心を身につける。
- ・基本的生活習慣を家庭、学校と連携し身につける。
- ・ボランティア活動を通し社会貢献し、自己肯定感、幸福感を高め、個々に自信をつけさせる。
- ・改善の見える化として、アンケート調査の数値目標を設定する。教職員の各項目 A 評価 15% アップを目指す。(教員と生徒の評価は比例している。)

2、評価の公開について

- ・学校通信 「静清だより」
- ・ホームページ
- ・校内掲示